

平成30年度  
事業報告書

自 平成30年 4月 1日  
至 平成31年 3月31日

社会福祉法人信達福祉会 法人本部  
特別養護老人ホームあつかし荘  
総合老人福祉施設梁川ホーム  
特別養護老人ホーム・デイサービス川俣ホーム

# 事業報告書 目次

<b>I 法人本部事業報告</b> .....	1
1 法人経営の安定.....	1
2 尊厳に根ざした介護の実践.....	5
3 地域社会との連携.....	7
<b>II 各施設事業報告</b> .....	8
1 あつかし荘.....	8
(1) あつかし荘全事業	
(2) 特別養護老人ホームあつかし荘・あつかし荘 短期入所生活介護（ショートステイ）	
2 梁川ホーム.....	9
(1) 梁川ホーム全事業	
(2) 特別養護老人ホーム梁川ホーム	
(3) 梁川ホーム短期入所生活介護（ショートステイ）	
(4) ケアハウス広瀬	
(5) 梁川ホーム通所介護（デイサービスセンター）	
(6) 梁川ホーム指定居宅介護支援事業所	
(7) 伊達市梁川地域包括支援センター	
3 川俣ホーム.....	13
(1) 川俣ホーム全事業	
(2) 特別養護老人ホーム川俣ホーム・川俣ホーム 短期入所生活介護（ショートステイ）	
(3) 川俣ホーム通所介護（デイサービスセンター）	
<b>III 各施設利用状況等</b> .....	16
<b>添付資料</b> .....	18
事業報告の附属明細書.....	18
各施設月別入所・利用状況	

## I 法人本部事業報告

平成30年度法人本部では、信達福祉会の運営理念「安全・安心・ゆとり」の実現を目標にして、利用者・家族、地域社会に対して最良なサービスを提供できるよう、(1) 法人経営の安定、(2) 尊厳に根ざした介護の実践、(3) 地域社会との連携を事業内容の柱として取り組んできた。

また、あつかし荘の増築については、平成29年度から引続き法人の重要な事業として進め、9月28日に完成披露式を開催し、10月1日に開所することができた。

- 5月10日 施主竣工検査
- 5月16日 建物の引渡し
- 7月20日 建物完成検査
- 9月28日 完成披露式
- 9月29日、30日 内覧会
- 10月1日 開所

### 本部事業

#### 1 法人経営の安定

##### (1) 法人運営体制の確立

###### ① 経営組織のガバナンス強化

評議員会4回と理事会4回を開催し、法人及び施設の事業計画・予算・決算の策定・執行、その他重要案件の審議を行った。5月15日には平成29年度の事業執行に係る監事監査を受け、各施設の担当者より事業報告及び決算報告を行い、梁川ホームショートステイ利用増及びあつかし荘の介護の取り組みに対する評価と職員確保や運営管理に対するご意見を頂いた。

###### ② 経営基盤の安定化

理事長、常務理事、各施設長及び本部事務局長、次長による法人経営会議を毎月開き、各施設の利用状況・収支状況の把握及び経営の課題分析、予算執行や事業計画の進行管理を行った。法人経理事務に関しては経理規程を改正し、統括して管理する統括会計責任者に常務理事を任命するなど、予算執行のチェック体制を強化した。また、経費節減として毎月の各施設電力使用量の集計分析を行いながら、適切な電気使用を促し、1月には3施設のLED化を行なった。電気料金については電力会社の比較検討を行った。

###### ③ 本部機能の推進

本部は法人事業を統括し、理事会・評議員会、法人経営会議、法人課長

会議、法人事務担当者会議等の開催に係る事務を行うとともに、法人の経営及び運営に関わる事項を協議し、効率的な法人運営に努めた。また、法人の業務及び財務等に関する情報をホームページ等で公表し、事業の透明性の確保に努めた。

▼評議員会（4回）

回	日 程	出席評議員	欠席評議員	出席理事	出席監事	議 案
1	平成 30 年 6 月 19 日 【定時評議員会】	9	2	2	2	定款の一部改正、就業規程の一部改正、理事・監事の報酬等、特別養護老人ホームあつかし荘運営規程の一部改正、あつかし荘（介護予防）短期入所運営規程の一部改正、諸運営規程の一部改正、平成 29 年度事業報告、平成 29 年度決算報告等
2	9 月 18 日	6	4	2	-	就業規程の一部改正、補正予算 等
3	12 月 11 日	9	1	2	-	ケアハウス広瀬管理規程の一部改正、ケアハウス広瀬運営規程の一部改正、補正予算 等
4	平成 31 年 3 月 26 日	8	2	2	-	就業規程の一部改正、補正予算、平成 31 年度事業計画、平成 31 年度当初予算等

※場所は梁川ホーム家族介護者教育室 1のみケアハウス広瀬

▼理事会（4回）

回	日 程	出席理事	出席監事	議 案
1	平成 30 年 6 月 1 日	7	2	定款の一部改正、就業規程の一部改正、臨時雇用職員管理規程の一部改正、理事・監事の報酬等、経理規程の全部改正、特別養護老人ホームあつかし荘運営規程の一部改正、あつかし荘（介護予防）短期入所運営規程の一部改正、諸運営規程の一部改正、平成 29 年度事業報告、平成 29 年度決算報告、定時評議員会の招集 等
2	9 月 10 日	7	2	就業規程の一部改正、臨時雇用職員管理規程の一部改正、補正予算、契約の締結、評議員会の招集 等
3	12 月 3 日	8	1	経理規程の一部改正、ケアハウス広瀬管理規程の一部改正、ケアハウス広瀬運営規程の一部改正、補正予算、契約の締結、評議員会の招集、 等
4	平成 31 年 3 月 15 日	8	2	就業規程の一部改正、臨時雇用職員管理規程の一部改正、補正予算、特別養護老人ホームあつかし荘移行時特別積立金及び移行時特別積立資産の取り崩

				し、特別養護老人ホーム梁川ホーム修繕費積立金及び修繕費積立資産の積立目的外使用取り崩し、ケアハウス広瀬修繕費積立金及び修繕費積立資産の積立目的外使用取り崩し、特別養護老人ホーム川俣ホーム修繕費積立金及び修繕費積立資産並びに備品等購入積立金及び備品等購入積立資産の積立目的外使用取り崩し、平成 31 (2019) 年度事業計画、平成 31 (2019) 年度当初予算、評議員会の招集、等
--	--	--	--	--

※場所は、梁川ホーム家族介護者教育室。2 はロイヤルホテルほていや

▼外部会議・研修・セミナー

研修会名	日程	出席者
福島県社会福祉協議会社会福祉法人経営者協議会総会	平成 31 年 3 月 14 日	岡崎康之理事長
福島県社会福祉協議会社会福祉法人経営者協議会総会・セミナー	平成 30 年 7 月 4 日	岡崎康之理事長
福島県老人福祉施設協議会総会	平成 30 年 5 月 7 日	佐藤正紀常務理事
役員研修会	平成 30 年 9 月 10 日	理事 6 名、監事 1 名
理事研修	平成 30 年 10 月 29 日	宍戸興一理事、伊藤重理事
監事研修	平成 30 年 11 月 2 日	斎藤昭二監事

(2) 人材確保と育成

① 魅力発信と計画的な採用

ホームページや施設広報紙の活用及び高校での説明会参加による直接アピールを行い、信達福祉会の魅力を発信した。採用においては新卒者の採用試験のほか、中途採用に向けた外部主催の就職説明会への参加、信達福祉会独自での職場見学会及び就職説明会を開催し、採用に至ることができた。そのほか人材紹介会社及び人材派遣会社からの紹介による採用を行った。

▼各就職説明会等実績

	日程	主催	名称	ブース 来訪者	採用者
1	平成 30 年 6 月 24 日	信達福祉会	信達福祉会就職説明会 (国見町)	3	1
2	7 月 14 日	福島県社会 福祉協議会	第 1 回福祉の職場合同就職説明 会 (福島市)	4	0
3	7 月 22 日	信達福祉会	あつかし荘就職説明会 (あつか し荘)	0	0
4	7 月 26 日	信達福祉会	信達福祉会職場見学会 (梁川ホ ーム)	7	1
5	7 月 29 日	福島県社会 福祉協議会	第 1 回福祉の職場合同就職説明 会 (郡山市)	2	0
6	8 月 2~3 日	信達福祉会	応募前見学	2	2
7	8 月 4 日	信達福祉会	あつかし荘就職説明会 (あつか し荘)	3	0
8	8 月 9 日	福島労働局	ふくしま大卒等合同就職面接会	0	0

			(郡山市)		
9	8月18日	信達福祉会	信達福祉会就職説明会(伊達)	0	0
10	9月15日	信達福祉会	あつかし荘就職説明会(あつかし荘)	3	2
11	11月18日	信達福祉会	信達福祉会就職説明会(川俣町)	0	0
12	11月22日	梁川高校	梁川高校進路講話	15	-
13	12月1日	福島労働局	ふくしま大卒等合同就職面接会(福島市)	2	0
14	12月8日	福島労働局	ふくしま大卒等合同就職面接会(郡山市)	0	0
15	12月10日	福島県社会福祉協議会	第2回福祉の職場合同就職説明会(福島市)	2	0
16	12月17日	福島公共職業安定所	地元企業の高校内企業説明会(尚志高等学校 福島市)	30	0
17	平成31年1月22日	福島公共職業安定所	福祉関係職場説明会(福島市)	1	1
18	2月3日	信達福祉会	信達福祉会就職説明会(梁川町)	2	2
19	2月20日	川俣高校	企業説明会(1,2年生対象)	17	-
20	3月8日	福島労働局	ふくしま大卒等就職ガイダンス(郡山市)	0	0

- ・職員採用試験 9月25日及び12月18日 介護職員 4名合格
- ・ " 10月16日及び12月18日 事務職員 合格者なし
- ・人材紹介による採用(あつかし荘1名、梁川ホーム3名)

平成31(2019)年度採用予定の新卒者4名に対し、3月に就職前研修として講義及び3施設の介護現場での介護補助の研修を実施した。

## ② 職員資質の向上

職員一人ひとりがそれぞれのキャリアに応じて能力や資質を高めていけるよう、各段階に応じた研修を行った。新人職員に対しては研修計画に基づいた入職時研修、プリセプター制度及び月に一度の集合研修を実施し、高卒職員の確実な成長を促すことができた。

### ▼法人役職者研修

	日程	対象	内容	参加人数
1	平成30年7月23日	係長	チームマネジメントと人材育成(外部講師)	18名
2	10月18日	主任・係長・課長	管理・監督層の仕事(事務局長)	36名
3	12月11日	主任	チームを作るコミュニケーション(外部講師)	15名

### ▼法人本部による派遣研修

研修会名	日程	出席者
管理者研修	平成30年11月14日～15日	あつかし荘施設介護課長
次世代人材育成研修	10月22日、12月13日 平成31年2月13日	梁川ホーム施設介護課長

地域貢献活動推進担当者研修会	平成 30 年 11 月 19 日	梁川ホーム在宅介護課長
社会福祉法人における労働時間管理・問題職員対応の実務	平成 31 年 2 月 7 日	梁川ホーム在宅介護課長
社会福祉施設経営セミナー	平成 30 年 12 月 7 日	梁川ホーム総務課副課長
社会福祉法人における会計担当者実務	平成 31 年 1 月 28 日～29 日	梁川ホーム総務課副課長

### ③ 職員能力の適正な評価と労務管理

県人材定着専門家派遣事業による外部コンサルタントを招いてのキャリアパス制度及び人事考課制度についてのプロジェクト会議を5回にわたり開催し、人事考課制度を人材育成型のものとして改めて捉え直し、2月20日、改定した手引きを用いて考課者研修を行い、係長以上全員に人事考課の訓練を行った。

就業規程の改正を行い、年次有給休暇の改正、セクシュアルハラスメントの禁止、妊娠・出産・育児介護休業等に関するハラスメントの禁止、パワーハラスメントの禁止等について定め、就業環境の整備を図った。

労働安全衛生法に基づいた各施設における衛生委員会の活動により、作業環境・作業・職員健康の管理を適切に進めた。時間外勤務削減及び有給休暇取得促進についても課長を主として継続して取り組み、成果が得られた。メンタルヘルス相談制度を利用した申し出はなかったが、日頃から上司への相談が行われている。ストレスチェックは9月18日～21日に実施し、199名が受検した。

## 2 尊厳に根ざした介護の実践

### (1) 利用者の権利擁護

#### ① 権利擁護、虐待防止

各施設においてプライバシー保護、身体拘束廃止・虐待防止研修を開催して職員の意識啓発を図り、外部研修にも主任を派遣し介護現場における利用者の権利擁護に努めた。

苦情解決委員会を7月10日に開催し、平成29年度の苦情受付、事故、身体拘束についての報告に対し、顧問弁護士より契約に基づく介護サービスの留意点についてなどアドバイスを頂いた。

#### ▼苦情対応、身体拘束、事故発生状況

年度	苦情対応件数	身体拘束件数	事故発生件数
平成 29 年度	7 件	4 件	205 件
平成 30 年度	4 件	2 件	260 件
増減	-3 件	-2 件	55 件

#### ② 利用者ニーズの的確な把握

サービス提供に際しては、利用者・家族の意向を確認しながら専門職

の視点を加えて適切な介護計画を作成し、利用者の自立支援を行った。また、利用者・家族満足度調査からもニーズを把握しサービス向上に努めた。

### ③ 選ばれる施設づくりの推進

これまで行ってきた法人3施設サービス評価の評価・分析の精度を高めていくために、第三者評価の基準を取り入れた法人サービス評価を3ヶ年で行うこととし、初めの年として16項目の評価を行った。

## (2) 介護サービスの質の向上

### ① 認知症介護とリスクマネジメント

各施設において福島県認知症介護研修への計画的派遣及び認知症介護委員会の毎月開催、職員研修会などを行った。また、地域へ向けた活動として、家族介護者教室の開催、地域包括支援センターを中心とした認知症カフェ、認知症サポーター養成講座の開催を行った。

- ・家族介護者教室（10月13日 梁川ホームで開催 16名参加）
- ・認知症カフェ（5回 96名参加）
- ・認知症サポーター養成講座（19回 269名参加）

各施設リスクマネジメント委員会では事故の予防、再発防止に向けた取り組みやマニュアルの見直しを継続し、5月、11月には法人全体のリスクマネジャー会議を開催し、事故の分析と対策について情報の共有化を図った。

感染症対策は各施設における食中毒及び感染症の研修開催と感染症対策委員会による情報収集及び予防とまん延防止のための園内対策の決定など、滞りなく必要な対策を講じたが、川俣ホームにおいては特養でのインフルエンザ発症により、ショートステイの入所のみ10日間中止せざるを得ない事態となり、利用者の発症予防は次年度への課題とされる。

### ② 楽しい食の提供と栄養管理

各施設栄養士が作る献立により、夏祭り、敬老会を始めとした行事食の提供のほか、調理行事を実施し、バラエティに富んだ食の楽しみの提供に努めた。また、利用者個人の栄養状態・食事摂取状況を共有した上でケアプランを立案し、個別の栄養状態にも配慮することができた。

### ③ 看取り介護・医療との連携

各施設の協力病院との連携のもと、多職種協働によるカンファレンスを開催し、家族の意向を汲んだ看取り介護計画を作成して利用者・家族に寄り添う看取り介護を行った。また、各施設において研修会を開催し、職員の看取り介護に対するスキルアップを図った。

看取り介護件数…あつかし荘9件 梁川ホーム21件 川俣ホーム7件

### 3 地域社会との連携

#### (1) 親しまれる法人づくり

##### ① 介護家族等の支援

各施設とも第三者も含めた入所検討委員会を3ヶ月に1度開催し、適正な入所計画に基づいた入所を進めた。退所から入所までの期間が長くなるケースがあったため、待機している方が少しでも早く入所できるように進め、稼働率向上も図ることにより経営の安定に努める。また、在宅介護に関わる相談援助職は適切な状況把握や介護知識の提供を行い、家族へ適時適切な支援が行われるように努めた。

##### ② ボランティア等との連携

各施設において定期的なボランティアや学校からの受入依頼を積極的に受け、地域の福祉教育の場としての役割を果たすことができた。

##### ③ 法人の情報発信

経営の透明性を高めるために、ホームページや施設広報紙を活用し、法人の理念、事業方針、財務状況、求人情報及び各施設の紹介、施設の取り組みなどを発信した。

#### (2) 公益的な取り組みの実施

##### ① 積極的な地域交流の推進

施設の夏祭りや地域のお祭り・行事への参加により交流の機会を多くもつようにし、開かれた施設として地域に溶け込む活動を行った。

あつかし荘（夏祭り7月29日、敬老会9月9日、鹿島神社例大祭10月26日）

梁川ホーム（夏祭り7月8日、敬老会9月9日、家族介護者教室10月13日）

川俣ホーム（納涼祭8月4日、敬老会9月9日、コスキンパレード10月6日）

##### ② 関係機関との連携・協力

社会福祉法人の公益的取組みとして、住民税非課税世帯で保険者から認定された利用者に対する介護サービス費用の軽減制度に継続して取り組んだ。そのほか地域住民に対する集いの場としての認知症カフェや、町内会等へ赴いた介護予防教室なども行い、地域に対して積極的に活動を行った。

##### ③ 災害時対応の整備

地域住民や消防団と一緒に災害に備えた訓練を行うなど地域と連携した災害対応の態勢整備を推進した。

あつかし荘…夜間消防訓練（9月 消防団、桑折町役場職員も参加）

梁川ホーム…炊き出し訓練（5月、9月 地区町内会の参加）

川俣ホーム…総合避難訓練（7、9、10、12月 済生会川俣病院と連携）

## II 各施設事業報告

### 1 あつかし荘

#### (1) あつかし荘全事業

##### ① あつかし荘増築棟の開所

法人本部および関係機関との連携を図り、増築棟施設および備品整備を行うとともに、積極的に人材確保を行い、10月1日に開所した。

急激な高齢者世帯の増加に伴い、高齢者が安心して生活を送るための地域の介護サービスの需要に応え、施設介護サービスや在宅サービスの提供を行うことができた。

##### ② 権利擁護

身体拘束廃止に関する外部研修に積極的に派遣するとともに、全体研修において全職員に周知し、職員の意識向上を図ることができた。法人サービス評価をもとに課題抽出と改善に取り組んだ。

##### ③ 質の高い介護サービスの実践

自立支援を視点とした研修を年間通して実施し、自立支援の考え方を職員全体に浸透させ、利用者の望む生活実現のために多職種でケアに取り組むことができた。

##### ④ ケアマネジメント力の向上

多職種でのカンファレンスを細やかに行い、利用者主体の施設介護サービス計画立案を樹立し、サービス提供を計画通りに実行することができた。

##### ⑤ 地域社会との連携

桑折町の町内社会福祉法人及び介護サービス事業所等連絡会や桑折町地域ネットワーク会議に積極的に出席し、福祉ニーズの把握に努め、利用者が住み慣れた地域で生活を継続できるように、医療・介護・行政との連携を図ることができた。

##### ⑥ 人材（財）育成

キャリアパスに応じた職員の研修派遣や法人役職研修の参加を進め、施設内での研修報告等により、職員の意欲向上と職場の活性化を図った。

また、人事考課および労務管理の法人研修や外部研修に参加し、働きやすい職場づくりに取り組んだ。

##### ⑦ 安全確保の強化

桑折町消防団等との連携による合同夜間総合訓練の他、消防署の協力のもと救命救急訓練を計画、実施し、安全確保に努めることができた。

また、利用者に安全かつ快適な施設サービスを提供するために、施設内外の点検を定期的に行い、設備機器等の維持管理に努めた。

## ⑧ 安定した施設運営

介護報酬改定に基づいた新たな加算と職員配置による加算の算定により、収入の確保を図った。感染症委員会を中心とした標準予防策の徹底、大型加湿器等の導入など環境整備を行い、感染症の発生の抑制に努めた。

また、施設会計における収支状況を的確に把握し、LED化を実践し光熱費等の経費削減や冗費縮減に努め、経営シミュレーションに基づく安定した経営と更なる基盤強化を図ることができた。

## (2) 特別養護老人ホームあつかし荘・あつかし荘短期入所生活介護（ショートステイ）

- ① 自立支援の考え方のもと、利用者一人ひとりの観察を行い、多職種でのカンファレンスを重ね、利用者にあった食事・排泄・入浴のサービス提供を行うことができた。行事やレクリエーションの外、個別に外出の機会を作ることができ、利用者の笑顔を多く見ることもできた。
- ② 嘱託医・協力医療機関との連携を密に行い、利用者の日々の観察や多職種と情報共有し、異常の早期発見、早期治療に努めることができた。また、多職種で利用者の口腔内環境を観察し、肺炎予防に努めることができた。
- ③ 利用者の皮膚の状態、活動状況、栄養状態の観察を多職種協働で行い、協力病院の皮膚科看護師によるポジショニングの指導を共有し、褥瘡予防に努めることができた。
- ④ 季節感のある食材や郷土料理を献立に取り入れ、メリハリのある食事を提供することができた。また、多職種で栄養アセスメントを行い、利用者の自然な排便を促すことができた。
- ⑤ 定期および臨時の入所検討委員会を開催し、入所申し込み者および待機者の状況確認を行い、スムーズな入所ができるよう努めた。また、看取り介護の個別の振り返りや、全体研修で看取り介護の研修を行い、全職員で看取り介護を実践することができた。

## 2 梁川ホーム

### (1) 梁川ホーム全事業

#### ① 権利擁護

家族満足度調査、関係各事業所へのアンケート等で施設に対する意見や要望を把握した他、伊達市介護相談員による施設訪問を通じて外部からの評価を真摯に受け止め、改善や課題解決に努めた。

#### ② 質の高い介護サービスの実践

認知症予防を目的とした調理機能訓練の実施、言語機能ロボットやレクリエーション機器の活用により、計画的かつ効果的な活動プログラムを進め、利用者が楽しみとやりがいを持ちながら身体機能維持・生活機能

向上につなげることができた。

③ ケアマネジメント力の向上

介護保険情報収集や関係各事業所との情報交換、各種学習会参加を通じて専門知識の習得を図り、利用者および地域ニーズへの対応、利用者の立場に立った総合的なマネジメント力向上に努めた。

④ 地域社会との連携

夏祭りや防災炊き出し訓練等を地域の方々と連携して運営し、各種行事においても地域ボランティアに協力を得るなど地域とのつながりを継続することができた。また、事業所での取り組みや特色を広報紙に掲載し地域へ情報発信した。

⑤ 人材（財）育成

外部研修の積極的派遣に加え、外部講師を招いた職位別内部研修を複数回実施しチームリーダー育成に努めた。また新人研修計画に沿った指導体制のもと未経験の職員も安心して働ける職場環境づくりに努め、職員自身の達成感・成長実感など職員同士の連帯感の高揚と活性化を図ることができた。

⑥ 安全確保の強化

利用者の安全確保のため、水害対策訓練など災害別訓練を計画的に実施し、有事の際の避難経路確認や必要備品の確保など心構えも含めた行動確認を全事業で行なった。

⑦ 安定した施設運営

各事業において取得可能な介護報酬加算を適宜算定するとともに、中長期経営シミュレーションに基づいたエアコン入替など施設整備の計画的実行、LED化など光熱費等の経費削減対策やコスト意識の醸成に努めた。また業務の効率化を常に考え職員の時間外勤務削減など労務管理を適正に行なった。

**(2) 特別養護老人ホーム梁川ホーム**

① 「ヒヤリはっと報告」による危険予知力の向上、「報・連・相」による多職種間の情報共有を図り、利用者の生活環境整備と個別ケアに努めた結果、骨折や誤嚥など重大事故防止につなげることができた。

② 外部研修派遣後の研修報告会や介護研修、感染症対応研修会などを職員が主体的に開催し、個々のスキルアップに努め、自立支援継続に向け介護サービスの質向上に努めた。

③ 安全な喀痰吸引体制構築のため看護と介護が協働した研修の実施、協力医療機関との連携による心身状態変化の早期対応に努めた。また施設内の感染症予防対策の徹底により利用者が発症することなく過ごすことができた。

- ④ 季節を感じる行事食の提供、選択食・オーダー食など利用者の楽しみと自己選択する機会を継続するとともに、料理クラブへの積極的参加など利用者の意欲向上に努めた。また温冷配膳車の配備により温かいものと冷たいものが最適温で提供でき、食の楽しみを増やすことができた。
- ⑤ 利用者の身体状態から褥瘡発生高リスク者の把握・評価・予防計画書の作成を行ない、疾病・栄養・寝具等さまざまな視点からの予防対策を多職種で検討するとともに、リハビリの計画的実施や福祉用具の効果的活用も併せた結果、施設内での褥瘡発生を防ぐことができた。
- ⑥ 利用者・家族の意向を十分理解することに努め、大切な終末に対する想いをカンファレンスで共有し、身体状態変化に対して丁寧かつ適宜説明しながら、その方らしく最期を迎えられる看取り介護を進めることができた。

### (3) 梁川ホーム短期入所生活介護（ショートステイ）

- ① 常に関係各事業所との連携を図り、利用希望に対する迅速な面接・調整を行なった結果、新規利用者も増え稼働率向上につながった。また在宅介護における短期入所の役割を自覚し、適切な介護サービス計画に基づく支援を行なった。
- ② 冬期利用に際しては家族や担当ケアマネジャーと連携を図り、在宅生活の様子や体調管理等について連絡を密にし、利用中の体調不良や感染症予防に努め、より良い介護サービスを提供できたことにより年間を通して利用者拡大が図れた。
- ③ 利用者の健康状態変化の早期発見・早期対応に努めるとともに、できる限り同じグループで利用いただき、落ち着いて過ごせる環境整備や介護用品の活用等により安全面の配慮を行ない、家族の負担軽減につなげることもできた。

### (4) ケアハウス広瀬

- ① 要介護者13名、要支援者10名、自立5名それぞれの価値観を尊重し、多職種が連携・協働して介護サービス計画を作成し、その方らしい自立した生活支援に向けサービス提供を行なった。
- ② 日々の健康チェックや食事・体重の確認をこまめに行ない、体調変化に対する早期発見・早期対応に努め、緊急時は協力病院との連携や他医療機関への受診手配を速やかに行なった。
- ③ 気候や時間帯などさまざまな要因による利用者の生活動作の変化等、職員間での気づきを「ヒヤリはっと報告」で共有し、居室環境や介助について検討し事故防止に努めた。
- ④ 施設内の畑で収穫した野菜での料理作り、外部ボランティアの協力のもと四季に応じたおやつ作りを行なった。また地域店舗への外出等、利用

者と地域の交流が継続できるよう支援した。

- ⑤ 利用者の身体機能維持、認知症予防を目的とした日々の運動レクリエーションを、輪投げやモトタイルを活用して継続実施した。

#### (5) 梁川ホーム通所介護（デイサービスセンター）

- ① 毎朝のミーティングおよび申し送りノートの活用により、利用者の心身状態やケアの方法、家族からの申し送り等、必要な情報を職員全体で共有し統一対応が図れた。
- ② 外部研修にも積極的に参加し、毎月のデイサービス会議において研修内容の報告を行ない、新しいレクリエーション技法の習得に努めたほか、ヒヤリはっと分析による危険予知力の向上など職員の資質向上に努めた。
- ③ 適切なアセスメントの実施により、立ち上がり訓練等利用者の状態に応じた個別機能訓練を実施できた。また、身体・生活機能の維持向上を目的として、季節に応じた各種レクリエーションや外出行事等を実施した。
- ④ 認知症対応型通所介護の浴槽にリフトを設置したことにより、中重度の利用者に対して安全な入浴支援が図れるとともに、職員の介護負担軽減・腰痛予防対策が推進された。
- ⑤ 口腔機能維持向上のため、言語ロボットを活用した口腔周囲筋体操を継続的に実施した。その結果として唾液の分泌、発声を促す行為に結び付ける事ができた。
- ⑥ 利用者の希望や要望を傾聴、受容しながら落ち着いて過ごせる環境づくりに努めた。また季節感を取り入れた作業療法（調理機能訓練）としてあんぼ柿作りやへそ大根作り等を行ない、認知症の進行予防や身体機能の維持向上に努めた。

#### (6) 梁川ホーム指定居宅介護支援事業所

- ① 事業所内において、毎週ケース検討会を開催し検討した内容に関しての報告、連絡も積極的に行なった。また、伊達市内の居宅介護支援事業所とも連携し合同での勉強会の開催や、同行訪問、新人研修の受け入れを積極的に行ない特定事業所としての役割を担うことができた。
- ② 医療機関やサービス事業所とケアチームを編成し情報の共有に努め、多様なケース対応やターミナル期における要介護者の在宅生活を支援した。
- ③ 難病や疾病末期の理解を深める為外部研修へ積極的に参加し、研修内容を事業所内で報告し、実践においてのアプローチへの活用に繋げた。
- ④ 梁川地区の居宅介護支援事業所と共同で認知症カフェを開催し、地域住民と一緒に活動する事で認知症に対する理解を深めてもらう事ができた。
- ⑤ 地域支援連絡会において梁川地区の居宅介護支援事業所、地域包括支

援センターでケア会議を開催した。伊達市の協力のもと実際の事例を活用しての会議を行う事で共通理解を図る事ができた。

#### (7) 伊達市梁川地域包括支援センター

- ① 地域の高齢者ができる限り住み慣れた地域で、自立した在宅生活を継続できるよう、行政、医療機関、事業所と連携を図りながら介護予防ケアマネジメントを行なった。
- ② 包括的、継続的ケアマネジメントを推進するため第8次伊達市高齢者福祉計画に基づく役割を遂行しながら、地域ケア会議の土台となる各事業所との意見交換会や地域ケア会議模擬会議を開催した。また、地域の介護支援専門員相互の意見交換、学習の機会を設定し、支援困難事例について各事業所との連携を図り介護支援専門員の支援に努めた。
- ③ 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域住民の求める介護の知識、一人暮らしや高齢者世帯に関する相談内容に応じて情報提供することができた。また認知症カフェや認知症サポーター養成講座の開催、出前講座等の地域活動に積極的に取組み、地域への介護予防啓発を更に促進することができた。
- ④ 虐待疑いの通報や、消費被害の情報提供などがあった場合は速やかに伊達市へ報告を行なった。また、成年後見人や老人福祉施設などへの入所が必要と思われる方の相談・支援も実施した。
- ⑤ 地域包括ケア会議や方部会などさまざまな会議や研修会に出席し、市町村の関係機関やその他の地域包括支援センターとの連携を密にするとともに情報共有や、地域の実態把握に努めた。
- ⑥ 新たな知識や技術の習得のため福祉・医療関連の研修会に参加し、修得した内容は部署内会議において伝達研修を行なった。

### 3 川俣ホーム

#### (1) 川俣ホーム全事業

- ① 権利擁護  
身体拘束廃止委員会活動では特にスピーチロックについて、身体拘束の具体例や、拘束しない為の対応方法を内部研修で学習し、スローガンを掲げて意識向上と実践に努めた。ご家族満足度調査、事業所向けのアンケート調査では、施設に対する意見や要望等を把握して改善に努めた。
- ② 質の高い介護サービスの実践  
認知症委員会活動で、外部講師による研修の開催や、アセスメント力の強化をし、利用者の行動に応じたコミュニケーション方法などの活用により利用者本位のケアに繋げることができた。
- ③ ケアマネジメント力の向上

関係各事業所との情報交換、研修の参加により専門的知識を深め、各部署それぞれの立場の専門性を活用しながら、利用者本位のケアマネジメント計画立案と、サービス提供につながるよう努めた。

④ 地域社会との連携

夏祭り、納涼祭、敬老会において地域の方々、ボランティアの協力を得ながら開催することができた。高校や専門学校等の実習生についても積極的に受け入れた。

⑤ 人材（財）育成

法人キャリアパス要件に基づき、専門職としての研鑽を積みながらスキルアップできるよう外部研修への派遣と、内部研修を実施した。また、安全衛生上の適切な労務管理において、制度の内容を必要に応じて個々に説明し、活用を促進することで働きやすい職場づくり環境に努めた。

⑥ 安全確保の強化

感染症拡大防止の為、随時感染症対策委員会を開催し、対応策の検討、実施と必要物品の速やかな購入を行なった。また、防災訓練においては組織の再編成を行い、職員それぞれが役割を意識した活動を行うことができた。

⑦ 安定した施設運営

介護報酬改定に伴った適切な報酬算定を行いながら取得可能な介護報酬加算を算定することが出来た。また、必要な施設設備の修繕や、LED化による光熱費の経費削減対策を図った。職員の時間外勤務については、効率化の検討を重ねながら削減に向け取り組むなど、労務管理を適正に行った。

(2) 特別養護老人ホーム川俣ホーム、川俣ホーム短期入所生活介護（ショートステイ）

① 自立支援の取り組みでは、下剤に頼らない自然排便へのアプローチとして水分、運動、食事などに注目し、多職種での検討や改善を重ね、必要に応じて下剤に代わりオリゴ糖やセンナ茶の活用をしつつ、自然な排便に効果が見られた。

② 看取り介護において、身体介護、状態観察だけではなく、利用者が好きなコーヒーを口に含んだり、香りを楽しむ、ご家族が飾った花を見て頂いたりするなど利用者のご家族の心に寄り添うケアを心がけ、利用者がその人らしい最期を迎えられるよう携わることが出来た。ご家族からも施設で看ってもらって良かったとの言葉を頂くなど、職員が看取りに対しての姿勢を学び、実践できるようになった。

利用者の中で褥瘡高リスク者を把握し、多職種で体位変換の方法や栄養面からの検討などをし、早期予防対策を行うことで褥瘡発生を防ぐこ

とができた。

- ③ 行事食や選択食など、折に触れ利用者の楽しみを感じて頂ける機会を継続でき、季節を感じられる食材を取り入れる工夫を重ねながら食事の提供ができた。また、食中毒や手洗い方法など、感染症の知識について内部研修で全体に周知することで安全な食事介助に努めた。

### (3) 川俣ホーム通所介護（デイサービスセンター）

- ① 自立支援における介護サービスとしてアクティビティーの実施の際、その効果を説明しながら行うことで意識的に利用者が体の様々な部位を動かすことができ、生活動作の維持、向上につなげることができた。また、個別に訪問する介護者教室を要望に応じて実施し、介護の不安や疑問を解消する機会を設けることができた。また、花見ドライブや忘年会での鍋づくりなどを行い、生活の楽しみを提供することができた。

### Ⅲ 各施設利用状況等

#### 特別養護老人ホーム

事業所名	定員 (人)	延べ利用人数(人)			ベッド稼働率(%)			利用者平均要介護度			営業日数(日)		
		30年度	29年度	前年度比	30年度	29年度	前年度比	30年度	29年度	前年度比	30年度	29年度	前年度比
あつかし荘	62	19,803	18,044	1,759	96.2	98.9	-2.7	4.23	4.27	-0.04	365	365	0
梁川ホーム	80	28,887	28,943	-56	98.9	99.1	-0.2	4.31	4.16	0.15	365	365	0
川俣ホーム	60	21,622	21,502	120	98.7	98.2	0.5	4.23	4.18	0.05	365	365	0
法人計	202	70,312	68,489	1,823	97.9	98.7	-0.8	4.26	4.20	0.06			

※ あつかし荘はH30.4～9月の定員50人、措置入所受入のためH30.10.30からの定員63人。

#### ショートステイ ※介護予防含む

事業所名	定員 (人)	延べ利用人数(人)			ベッド稼働率(%)			1日平均利用者数(人)			営業日数(日)		
		30年度	29年度	前年度比	30年度	29年度	前年度比	30年度	29年度	前年度比	30年度	29年度	前年度比
あつかし荘	10	1,156	767	389	56.9	105.1	-48.2	3.2	2.1	1.1	365	365	0
梁川ホーム	20	6,229	6,086	143	86.3	83.4	2.9	17.3	16.7	0.6	365	365	0
川俣ホーム	20	5,658	6,105	-447	77.5	83.6	-6.1	15.5	16.7	-1.2	365	365	0
法人計	50	13,043	12,958	85	73.6	84.5	-10.9	36.0	35.5	0.5			

※ あつかし荘はH30.4～9は2人定員、H30.10.30より1名措置入所のため、9人定員。

#### デイサービスセンター ※介護予防含む

事業所名	定員 (人)	延べ利用人数(人)			稼働率(%)			1日平均利用者数(人)			開所日数(日)		
		30年度	29年度	前年度比	30年度	29年度	前年度比	30年度	29年度	前年度比	30年度	29年度	前年度比
梁川ホームⅠ型	25	6,645	6,307	338	86.3	82.4	3.9	21.6	20.6	1.0	308	306	2
Ⅱ型	12	2,618	2,565	53	70.8	70.1	0.8	8.5	8.4	0.1	308	305	3
川俣ホームⅠ型	20	4,176	4,469	-293	67.8	73.0	-5.2	13.6	14.6	-1.0	308	306	2
Ⅱ型	12	2,394	2,578	-184	64.8	70.2	-5.4	7.8	8.4	-0.6	308	306	2
法人計	69	15,833	15,919	-86	74.5	75.4	-0.9	51.4	52.0	-0.6			

### ケアハウス

事業所名	定員 (人)	月初日平均入居者数(人)			稼働率(%)			営業日数(日)		
		30年度	29年度	前年度比	30年度	29年度	前年度比	30年度	29年度	前年度比
ケアハウス広瀬	30	27.9	27.1	0.8	93.0	90.3	2.7	365	365	0
法人計	30	27.9	27.1	0.8	93.0	90.3	2.7			

### 居宅介護支援事業所

事業所名	要介護認定調査(件)			居宅サービス計画作成の相談依頼(件)			居宅サービス計画作成(件)		
	30年度	29年度	前年度比	30年度	29年度	前年度比	30年度	29年度	前年度比
梁川ホーム	126	222	-96	2,329	2,231	98	2,179	2,077	102
法人計	126	222	-96	2,329	2,231	98	2,179	2,077	102

### 地域包括支援センター

事業所名	相談延べ件数(件)			訪問件数(件)			介護予防サービス計画作成(件)			地域講座(件)		
	30年度	29年度	前年度比	30年度	29年度	前年度比	30年度	29年度	前年度比	30年度	29年度	前年度比
伊達市梁川地域包括支援センター	2,697	2,941	-244	1,090	1,380	-290	2,663	2,480	183	28	18	10
法人計	2,697	2,941	-244	1,090	1,380	-290	2,663	2,480	183	28	18	10

事業報告の附属明細書

平成30年度 あつかし荘市町村別・月別利用状況

特養

市町村別 月別	福島市		伊達市					桑折町	国見町	川俣町	その他	計	月内の異動	
	福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月舘町						入所	退所
平成30年 4月	(人) 2	(人) 0	(人) 4	(人) 4	(人) 8	(人) 1	(人) 1	(人) 18	(人) 12	(人) 0	(人) 0	(人) 50	(人) 0	(人) 0
5月	2	0	4	4	8	1	1	18	12	0	0	50	0	0
6月	2	0	4	4	8	1	1	18	12	0	0	50	0	0
7月	2	0	4	4	8	1	1	18	12	0	0	50	0	0
8月	2	0	4	4	8	1	1	18	12	0	0	50	0	0
9月	2	0	4	4	8	1	1	18	12	0	0	50	2	2
10月	2	0	4	3	8	1	1	18	13	0	0	50	7	1
11月	4	0	4	4	10	1	1	18	15	0	0	57	3	3
12月	4	0	3	6	10	1	1	17	15	0	0	57	6	0
平成31年 1月	4	0	3	6	10	1	2	20	17	0	0	63	0	2
2月	4	0	3	6	10	1	2	20	15	0	0	61	3	1
3月	4	0	3	7	10	1	2	21	15	0	0	63	1	1
合計	34	0	44	56	106	12	15	222	162	0	0	651	22	10

※月初日の入所者数

短期入所生活介護

市町村別 月別	福島市		伊達市					桑折町	国見町	川俣町	その他	合計 延日数	1日平均人数	ベッド稼働率
	福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月舘町							
平成30年 4月	(日) 0	(日) 37	(日) 23	(日) 0	(日) 0	(日) 60	(人) 2.0	(%) 100.0%						
5月	0	0	0	6	0	0	0	27	20	0	0	53	1.7	85.5%
6月	0	0	0	15	0	0	0	23	17	0	0	55	1.8	91.7%
7月	0	0	0	9	0	0	0	25	28	0	0	62	2.0	100.0%
8月	0	0	0	21	0	0	0	30	32	0	0	83	2.7	133.9%
9月	0	0	0	10	0	0	0	35	27	0	0	72	2.4	120.0%
10月	0	0	0	30	0	0	0	22	40	0	0	92	3.0	29.9%
11月	0	0	0	43	0	0	0	21	61	0	0	125	4.2	46.3%
12月	0	0	0	33	0	0	0	70	47	0	0	150	4.8	53.8%
平成30年 1月	0	0	0	32	0	0	0	46	66	0	0	144	4.6	51.6%
2月	0	0	0	14	0	0	0	58	46	0	0	118	4.2	46.8%
3月	0	0	0	18	0	0	0	78	46	0	0	142	4.6	50.9%
合計	0	0	0	231	0	0	0	472	453	0	0	1156	3.2	56.9%

事業報告の附属明細書

平成30年度 梁川ホーム市町村別・月別利用状況

特養

市町村別 月別	福島市		伊達市					桑折町	国見町	川俣町	その他	計	月内の異動	
	福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧靈山町	旧月舘町						入所	退所
平成30年 4月	(人) 0	(人) 0	(人) 1	(人) 50	(人) 11	(人) 8	(人) 3	(人) 2	(人) 4	(人) 0	(人) 0	(人) 79	(人) 1	(人) 0
5月	0	0	1	51	11	8	3	2	4	0	0	80	4	5
6月	0	0	1	51	11	7	3	2	4	0	0	79	1	0
7月	1	0	1	51	11	7	3	2	4	0	0	80	2	2
8月	1	0	1	50	11	7	4	2	4	0	0	80	2	2
9月	1	0	1	51	10	7	4	2	4	0	0	80	1	2
10月	1	0	1	49	12	7	4	2	4	0	0	80	2	2
11月	1	0	1	48	12	8	3	2	4	0	0	79	3	3
12月	1	0	1	46	12	8	4	3	4	0	0	79	1	0
平成31年 1月	1	0	1	46	12	8	5	3	4	0	0	80	2	4
2月	0	0	1	44	13	8	5	3	3	1	0	78	4	3
3月	1	0	1	44	13	8	5	4	3	1	0	80	2	2
合計	8	0	12	581	139	91	46	29	46	2	0	954	25	25

※月初日の入所者数

短期入所生活介護

市町村別 月別	福島市		伊達市					桑折町	国見町	川俣町	その他	合計 延日数	1日 平均 人数	ベッ ド稼 働率
	福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧靈山町	旧月舘町							
平成30年 4月	(日) 0	(日) 0	(日) 0	(日) 500	(日) 10	(日) 13	(日) 0	(日) 0	(日) 20	(日) 0	(日) 0	(日) 543	(人) 18.1	(%) 90.5
5月	0	0	0	492	14	24	0	5	16	0	2	553	17.8	89.2
6月	0	0	0	472	17	24	0	2	18	0	2	535	17.8	89.2
7月	0	0	0	489	16	24	0	0	20	0	2	551	17.8	88.9
8月	0	0	0	466	14	22	0	0	14	0	2	518	16.7	83.5
9月	0	0	0	479	8	14	0	0	18	0	3	522	17.4	87.0
10月	0	0	0	511	14	21	0	0	13	0	2	561	18.1	90.5
11月	0	0	0	485	13	9	0	17	0	2		526	17.5	87.7
12月	0	0	0	457	33	12	0	0	15	0	2	519	16.7	83.7
平成31年 1月	0	0	0	484	22	2	0	0	14	0	0	522	16.8	84.2
2月	0	0	0	415	20	3	0	0	27	0	2	467	16.7	83.4
3月	0	0	0	429	24	8	0	0	23	0	0	484	15.6	78.1
合計	0	0	0	5679	205	176	0	24	198	2	17	6301	17.3	86.3

事業報告の附属明細書

平成30年度 川俣ホーム市町村別・月別利用状況

特養

市町村別 月別	福島市		伊達市					桑折町	国見町	川俣町	その他	計	月内の異動	
	福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧靈山町	旧月舘町						入所	退所
平成30年 4月	(人) 3	(人) 5	(人) 1	(人) 0	(人) 1	(人) 1	(人) 7	(人) 0	(人) 0	(人) 38	(人) 4	(人) 60	(人) 0	(人) 0
5月	3	5	1	0	1	1	7	0	0	38	4	60	1	1
6月	3	5	1	0	1	1	7	0	0	38	4	60	0	0
7月	3	5	1	0	1	1	7	0	0	38	4	60	0	0
8月	3	5	1	0	1	1	7	0	0	38	4	60	0	0
9月	3	5	1	0	1	1	7	0	0	38	4	60	0	0
10月	3	5	1	0	1	1	7	0	0	38	4	60	0	0
11月	3	5	1	0	1	1	7	0	0	38	4	60	2	2
12月	3	5	1	0	1	1	7	0	0	39	3	60	0	0
平成31年 1月	3	5	1	0	1	1	7	0	0	39	3	60	3	4
2月	3	4	1	0	1	1	8	0	0	39	2	59	3	2
3月	3	3	1	0	1	1	9	0	0	40	2	60	1	1
合計	36	57	12	0	12	12	87	0	0	461	42	719	10	10

※月初日の入所者数

短期入所生活介護

市町村別 月別	福島市		伊達市					桑折町	国見町	川俣町	その他	合計 延日数	1日 平均 人数	ベッ ド稼 働率
	福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧靈山町	旧月舘町							
平成30年 4月	(日) 0	(日) 13	(日) 0	(日) 0	(日) 0	(日) 0	(日) 22	(日) 0	(日) 0	(日) 460	(日) 0	(日) 495	(人) 16.5	(%) 82.5
5月	0	18	0	0	0	0	30	0	0	467	0	515	16.6	83.1
6月	0	19	0	0	0	0	24	0	0	448	0	491	16.4	81.8
7月	0	13	0	0	0	0	21	0	0	426	0	460	14.8	74.2
8月	0	22	0	0	0	0	18	0	0	497	0	537	17.3	86.6
9月	0	17	0	0	0	0	16	0	0	494	0	527	17.6	87.8
10月	0	18	0	0	0	0	14	0	0	511	0	543	17.5	87.6
11月	0	20	0	0	0	0	12	0	0	452	0	484	16.1	80.7
12月	0	20	0	0	0	0	13	0	0	435	0	468	15.1	75.5
平成31年 1月	0	14	0	0	0	0	8	0	0	309	0	331	10.7	53.4
2月	0	17	0	0	0	0	6	0	0	371	0	394	14.1	70.4
3月	0	30	0	0	0	0	4	0	0	379	0	413	13.3	66.6
合計	0	221	0	0	0	0	188	0	0	5249	0	5658	15.5	77.5